

3 なたね

(1) 国際的ななたね需給の概要

○2008/09年度のなたね需給（予測）のポイント

なたねの供給面では、EU等で小麦の作付面積の拡大との競合による作付面積の減少があるものの、比較的良好な天候を背景に世界の生産量は増加が見込まれている。

需要面では、EU、カナダ等でバイオディーゼル需要の拡大に伴う搾油用需要の増加を中心に世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を上回ることから在庫が積み増しされ、期末在庫率も上昇するものの、依然として低水準であると見込まれている。

【生産量】

生産量は、EU、中国、カナダ等の主要生産国で増加することから、世界全体では前年度より5.9百万トン増加（12.1%）し、54.1百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.7百万トン上方修正されており、国別にはカナダ、EUが上方修正された。

【消費量】

消費量は、原油価格の高騰によるバイオディーゼル需要の増加などから油糧種子全般での需要増大により、EU等で搾油需要を中心とした増加が見込まれ、世界全体では前年度より3.2百万トン増加（6.3%）し、51.9百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体でわずかに上方修正されており、国別にはEUが上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より1.4百万トン増加（17.4%）し、9.8百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではウクライナ、オーストラリアが生産量の回復により輸出量を増加させるものの、カナダは輸出量の減少が見込まれている。一方、輸入国では、生産国でもあるEUが域内のなたね需要を満たすため、輸入量の増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.1百万トン上方修正されており、国別にはEUの輸出量が上方修正、パキスタンの輸入量が下方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから、カナダ等で積み増しされ、世界全体では前年度より1.5百万トン増加（44.7%）し、4.9百万トンとなり、期末在庫率も9.3%まで上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.6百万トン上方修正されており、国別にはカナダ等で上方修正された。

表－1 世界のなたね需給

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	45.2	48.2	54.1	0.7	12.1
EU-27	16.1	18.4	19.2	0.1	4.3
中国	11.0	10.4	11.0	-	6.0
カナダ	9.0	9.5	10.9	0.5	14.4
インド	5.8	5.5	5.8	-	6.4
ウクライナ	0.6	1.1	2.8	-	154.5
オーストラリア	0.6	1.1	1.6	-	50.2
ロシア	0.5	0.6	0.7	-	10.8
消費量	46.5	48.7	51.9	0.0	6.7
うち搾油用	43.8	46.3	49.1	0.0	6.1
EU-27	16.6	19.1	20.5	0.1	7.1
中国	11.9	11.2	11.7	-	4.7
インド	6.4	5.9	5.9	-	1.4
カナダ	4.0	4.2	4.7	-	12.5
日本	2.2	2.2	2.3	-	5.1
パキスタン	1.1	1.0	1.2	▲ 0.0	17.8
メキシコ	1.1	1.2	1.3	-	4.2
貿易量	6.6	8.4	9.8	0.1	17.4
(輸出)					
カナダ	5.4	5.9	5.3	-	▲ 9.4
ウクライナ	0.5	0.9	2.3	-	148.3
オーストラリア	0.2	0.6	0.9	-	62.7
米国	0.2	0.4	0.4	-	▲ 19.5
EU-27	0.1	0.4	0.4	0.1	2.3
ロシア	0.1	0.1	0.1	-	118.8
パキスタン	0.0	0.1	0.1	-	8.1
(輸入)					
日本	2.2	2.2	2.3	-	4.5
EU-27	0.4	0.7	1.9	-	169.7
メキシコ	1.0	1.2	1.3	-	4.2
パキスタン	0.8	0.9	1.0	▲ 0.1	17.6
米国	0.6	0.9	0.7	0.0	▲ 15.2
中国	1.0	0.8	0.7	-	▲ 12.5
アラブ	0.3	0.5	0.6	-	18.0
期末在庫量	4.4	3.4	4.9	0.6	44.7
EU-27	1.4	1.0	1.2	▲ 0.0	16.2
カナダ	1.8	1.5	2.6	0.5	72.6
オーストラリア	0.3	0.2	0.4	-	58.6
日本	0.1	0.1	0.1	-	▲ 2.9
ロシア	0.1	0.1	0.1	0.0	2.1
米国	0.1	0.2	0.2	0.1	14.0
インド	0.5	0.1	0.1	-	▲ 50.0
期末在庫率	9.5%	6.9%	9.3%	1.2	2.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、 「PS&D」

(2) なたねの主要生産・輸出国等の需給状況

ア カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、バイオディーゼル需要を背景としたなたね価格の高騰による作付け拡大や、単収の回復基調により、前年度より1.4百万トン増加（14.4%）し、10.9百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.5百万トン増加（12.5%）し、4.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、EU、中国等の他の主要生産国での生産量の増加に伴い前年度より0.6百万トン減少（▲9.4%）し、5.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、1.1百万トン増加（72.6%）し、2.6百万トンとなり、期末在庫率も25.7%（10.9ポイント増）と増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、単収の上方修正により生産量が0.5百万トン上方修正され、期末在庫量も0.5百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダのなたねは、現在、収穫を終えている。一時天候不順が懸念されたものの、生育期間中は平均以上の降雨量と平年並みの気温で、概ね順調に生育したとみられる。単収及び品質ともに良好であり、昨年を上回る収量が見込まれている。

イ オーストラリア

【需給状況】

オーストラリアの生産量は、小麦と同様に2年連続の干ばつの影響で低下していたが、0.5百万トン増加（50.2%）し、1.6百万トンとなり平年並みに回復する見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン増加（5.6%）し、0.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加に伴い前年度より0.3百万トン増加（62.7%）し、0.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン増加（58.6%）し、0.4百万トンとなり期末在庫率も26.0%（3.9ポイント増）と増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

オーストラリアのなたねは、現在、生育期から収穫期を迎えている。全般的に乾燥傾向による土壌水分不足が懸念される中で7月下旬に降雨があり、なたねの生育の改善に繋がったと見られている。8月はウェスタンオーストラリア州南部の生産地帯などで乾燥傾向が続いていたが、9月に入り、平年以上の降雨があった。

我が国の輸入先国シェア 1位（2007年数量ベース92.9%）
世界の生産量シェア 3位（2008/09年度20.1%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度54.0%）

表-2 カナダのなたね需給（市場年度：8月～翌年7月）

（単位：百万トン）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	9.0	9.5	10.9 (10.4)	0.5	14.4
消費量	4.0	4.2	4.7 (4.7)	-	12.5
うち搾油用	3.6	4.0	4.2 ...	-	4.7
輸出量	5.4	5.9	5.3 (5.5)	-	▲ 9.4
輸入量	0.2	0.2	0.2 (0.2)	-	13.0
期末在庫量	1.8	1.5	2.6 (1.9)	0.5	72.6
期末在庫率	19.5%	14.9%	25.7% (18.6%)	4.8	10.9

(参考)

収穫面積(百万ha)	5.24	6.23	6.32 (6.32)	-	1.4
単収(t/ha)	1.72	1.53	1.72 (1.64)	0.08	12.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」
AAFC「Grains and Oilseeds (September 17, 2008)」

我が国の輸入先国シェア 2位（2007年数量ベース 7.0%）
世界の生産量シェア 6位（2008/09年度 3.0%）
輸出量シェア 3位（2008/09年度 9.1%）

表-3 オーストラリアのなたね需給（市場年度：12月～翌年11月）

（単位：百万トン）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	0.6	1.1	1.6 (1.6)	-	50.2
消費量	0.5	0.5	0.6 (0.7)	-	5.6
うち搾油用	0.5	0.5	0.5 (0.7)	-	5.9
輸出量	0.2	0.6	0.9 (0.9)	-	62.7
輸入量	0.1	0.0	0.0 (0.0)	-	0.0
期末在庫量	0.3	0.2	0.4 (0.0)	-	58.6
期末在庫率	36.7%	22.0%	26.0% (0.0%)	-	3.9

(参考)

収穫面積(百万ha)	1.05	1.06	1.20 (1.22)	-	13.2
単収(t/ha)	0.54	1.00	1.33 (1.35)	-	33.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」
ABARE「Australian crop report (September 2008)」

ウ EU-27

【需給状況】

EUの生産量は、EU共通農業政策(CAP)における小麦の生産調整面積が適用されないことによる小麦の作付拡大により、小麦の転作作物であり作付が競合するなたねの収穫面積が減少するものの、温暖な冬の天候などにより単収が増加することから前年度より0.8百万トン増加(4.3%)し、19.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、原油価格の高騰によるバイオディーゼル需要の増加などから搾油需要が増加し前年度より1.4百万トン増加(7.1%)し、20.5百万トンとなる見込みである。

EU域内需要の増加に伴い、輸出量は前年度よりわずかに増加(2.3%)し、0.4百万トンとなり、輸入量は前年度より1.2百万トン増加(169.7%)し、1.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン増加(16.2%)し、1.2百万トンとなり期末在庫率も5.7%(0.4ポイント増)と増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、収穫面積を下方修正したものの単収を上方修正したことにより生産量を0.1百万トン上方修正した。また、消費量、輸出量も0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

EUでは全般的には、比較的生育に適した天候に恵まれたことから、良好な作柄となった。なたねの収穫は8月頃に終了している。

エ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、価格の高騰などにより作付意欲が高まり、前年度より0.6百万トン増加(6.0%)し、11.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.5百万トン増加(4.7%)し、11.7百万トンとなる見込みである。

輸入量は、生産量が回復することなどから0.1百万トン減少(▲12.5%)し、0.7百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

2007/08年度のなたねは昨年の10月に作付けされたが、今年初めの大寒波により主要生産地で被害を受けた。開花期や成熟期の間、天候に恵まれたことから単収は回復し、収穫は5月頃に終了している。2008/09年度のなたねは揚子江流域では9月下旬から作付けが始まったが、四川省を中心とする一部地域では、過度の降雨で苗の生育に影響が出ている。

世界の生産量シェア	1位 (2008/09年度35.5%)
輸出量シェア	5位 (2008/09年度 4.1%)

表-4 EU-27のなたね需給(市場年度:7月~翌年6月)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測からの変更	対前年度増減率(%)
生産量	16.1	18.4	19.2 (19.0)	0.1	4.3
消費量	16.6	19.1	20.5 (20.2)	0.1	7.1
うち搾油用	15.7	18.2	19.6 (19.4)	0.1	7.5
輸出量	0.1	0.4	0.4 (0.3)	0.1	2.3
輸入量	0.4	0.7	1.9 (1.7)	-	169.7
期末在庫量	1.4	1.0	1.2 (1.0)	▲0.0	16.2
期末在庫率	8.6%	5.2%	5.7% (5.1%)	▲0.1	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	5.41	6.57	6.30 (6.29)	▲0.07	▲4.2
単収(t/ha)	2.98	2.80	3.05 (3.02)	0.05	8.8

資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (October 2008)」

世界の生産量シェア	2位 (2008/09年度 20.3%)
輸入量シェア	6位 (2008/09年度 7.1%)

表-5 中国のなたね需給(市場年度:10月~翌年9月)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測からの変更	対前年度増減率(%)
生産量	11.0	10.4	11.0 (11.5)	-	6.0
消費量	11.9	11.2	11.7 ...	-	4.7
うち搾油用	11.5	10.7	11.2 (11.5)	-	4.7
輸出量	0.0	0.0	0.0 ...	-	0.0
輸入量	1.0	0.8	0.7 (0.9)	-	▲12.5
期末在庫量	0.0	0.0	0.0 ...	-	0.0
期末在庫率	0.0%	0.0%	0.0% ...	-	0.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.00	5.70	6.00 (6.82)	-	5.3
単収(t/ha)	1.83	1.82	1.83 (1.69)	-	0.5

資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (October 2008)」

オ インド

【需給状況】

インドの生産量は、単収が低下するものの収穫面積が回復する見込みであることから、前年度より0.3百万トン増加（6.4%）し、5.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度と同水準の5.9百万トンとなる見込みである。

輸出品、輸入品とも貿易の実績はほとんどない。

この結果、期末在庫量は、前年と同水準の0.1百万トンとなり、期末在庫率は0.8%（0.9ポイント減）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

なたねは作付けが始まったところであり、翌年の2月から3月にかけて収穫が行われることから、今後の天候に注視が必要である。

（世界の生産量シェア 4位（2008/09年度 10.7%））

表－6 インドのなたね需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	5.8	5.5	5.8 (6.2)	-	6.4
消費量	6.4	5.9	5.9 ...	-	1.4
うち搾油用	5.7	5.2	5.3 (5.4)	-	1.1
輸出品	0.0	0.0	0.0 ...	-	0.0
輸入品	0.0	0.0	0.1 ...	-	300.0
期末在庫量	0.5	0.1	0.1 ...	-	▲ 50.0
期末在庫率	7.7%	1.7%	0.8% ...	-	▲ 0.9
(参考)					
収穫面積(百万ha)	6.64	5.70	6.20 (6.30)	-	8.8
単収(t/ha)	0.87	0.96	0.94 (0.98)	-	▲ 2.1

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (October 2008)」